

วารสาร **กรุงเทพฯ**

**クンテック。**

2019 SEP  
VOL 27 (619)



泰国日本人会



วารสารกรุงเทพฯ ฉบับประจำเดือน กันยายน 2562

vol.9 バンコク都ラッタナコーシン島  
もう一度行ってみませんか  
バンコク発祥の地  
ラッタナコーシン島



民主記念塔:1932年、シャム王国時代の絶対王政から立憲君主制に導いたシャムクーデターを記念して、1939年に建設されました



左にチャオプラヤー川、白い壁に囲まれた王宮、右手前がワット・ポー

歴史、王朝、文化。タイの重要事項がつまった

**ラッタナコーシン展示館**

Rattanakosin Exhibition Hall

200年前からの歴史や文化を紹介する資料館です。タイの歴史や文化、さらにタイ王室についてジオラマや映像展示などで詳しく学ぶことができます。英語でのガイドもあり、タイに住んでいる方にこそ行ってみたい場所です。入場料：100B ■HP: Nitasrattanakosin.com



小高い丘からバンコク市内を一望できる

**ワット・サケット Wat Saket**

「サケット」とは、王が散髪されることを意味する王室用語で、チャオプラヤー・チャクリーはトンブリ王朝末期に起きた騒乱を沈静化したのち、自ら「ラーマ1世」として即位する際、ここで散髪してから儀式に臨んだと伝えられています。ラーマ5世の時代に完成した高さ約80mの黄金の丘「プーカオ・トーン」がそびえており、頂上にある黄金の仏塔には仏舎利が納められています。344段のらせん階段を上ると360度見渡せる回廊が広がっており、ここから眺めるバンコク市内の風景も素晴らしいです。拝観料：20B ■HP: thailandtravel.or.jp/wat-saket



写真・情報提供/タイ国政府観光庁、中村慈恵

チャオプラヤー川と運河に囲まれたラッタナコーシン島は、現王朝の初代国王であったラーマ1世が遷都してできたバンコク発祥の地で、王宮をはじめ数々の荘厳な寺院のある旧市街地区です。

この地区の一番の目玉は、なんと言っても王宮とワット・プラケーオ（エメラルド寺院）。広大な敷地の中に贅を尽くした黄金の仏塔群や宮殿が点在しており、その壮大さは観る者を圧倒します。巨大な涅槃仏で有名なワット・ポー（涅槃仏寺院）、ワット・マハタート、チャオプラヤー川対岸のワット・アルンなどの寺院群やサナムルアン、国立博物館などもここ。一度は行ったことがあるこのエリアに、タイ在住の皆様にも一度足を運んで欲しい。タイの歴史や文化を学べるスポットが満載です。

お土産に最適な  
ロイヤルプロジェクト製品  
**チットラダー牛乳  
ミルクタブレット**

ラッタナコーシン島近く、チットラダー宮殿内の工場で生産されているロイヤルプロジェクト製品。コンビニやスーパーなどで購入できます。ミルクタブレットは優しい味わいです。



access

【地下鉄】延伸した地下鉄ブルーラインで便利に！  
【路線バス】2番バス。【タクシー】BTSナショナルスタジアム駅からの乗車で約10分。【ポート】チャオプラヤーエクスプレスポート：BTSサパーンタクシン駅下のサトーン船着場からター・チャンカター・ティアンへ。センセーブ運河ポート：BTSラーチャターウィー駅付近のファチャー船着場から終点パンファミリーラートまで(ワット・サケットそば)。トンローやアソークの船着場からも乗船できるがプラトゥーナムでの乗換えが必要。

# 日本とタイの

## 絆

◎特集

日本のODAによって  
建設された橋梁群

# チャオプラヤ川に 架かる15の橋

チャオプラヤ川に架かる橋は  
バンコク都市圏だけでも21本。  
うち15本が日本の政府開発援助  
ODAによって建設されています。  
人と物を運び、地域を繋ぐ  
チャオプラヤ川の橋。  
日本とタイの絆をも繋いできた  
橋梁群にフォーカス！



2014年12月に開通したノントブリ1道路橋

## チャオプラヤ川に辿る 日本とタイの交流史

アユタヤ交易時代から  
現代のODA支援まで

国際協力機構（JICA）タイ事務所

水上貴裕

タイの首都バンコクを流れ、  
人々の生活と密接に関わってき  
た河川、チャオプラヤ川。古く  
はその水運が行き交う人々の交  
通網として利用されてきました  
が、今日ではその上に多くの橋  
が架けられ、道路や鉄道により  
他都市、ひいては他国へも繋  
がっていく輸送網の一部として  
機能しています。

バンコク都市圏だけでもその  
数は21本に及びますが、うち15  
本が日本の政府開発援助（ODA）  
により建設・整備されてきた  
ことをご存じでしょうか。古  
くは1971年のプラ・ピンク  
ラオ橋への融資契約締結から、  
2014年のノントブリ1道路  
橋完工までを考えれば、およそ  
43年間にも及ぶロングランの歴  
史となります。15本の長さを全  
て合計するとおよそ5893  
m、円借款（日本からタイへの



ベトナム道路間、本線延長(約  
施工：(南北第1工区)大林組、  
nunt Construction、  
北第3工区鹿島建設、東急建設、



開通：2006年9月  
大成建設、西松建設、NKK、  
& Construction 合併

着工：2001年11月  
施工：鹿島建設、東急建設、  
& Construction 合併

融資)総額は全部で1198億円に上り、建設に際してはその殆どに日本企業が参画してきました。仕事や生活、旅行において、タイの人々だけでなく多くの日本人もこれらの橋を利用してきたことを考えると、まさに計画、資金調達、建設、その後の活用と、全ての過程において日本が深くかかわってきた橋であるといえます。

さらに、チャオプラヤ川に係する日本の支援はこれらに留まりません。2011年、バンコクを記録的な洪水が襲い、多くの企業や民家が被害を受け、タイ国内のみならず世界中の流通経済にも影響が生まれました。この被害を受け、日本がタイに支援したのが、アユタヤ県にある二つの水門。これらは洪水被害を鑑み、無償資金協力(返済の義務がない贈与)というスキームで支援されましたが、この建設・整備も日本の企業が担い、その技術を活かしました。なお、この水門を建設した際、同時に日本製のポンプ車が10台供与されましたが、このポンプ車が、昨年チェンライ県で発生したタムルアン洞窟遭難事故で現場に急行し、日本の活動を世界に知らしめたポンプ車になったのです。

古くは室町時代まで遡る、日本とタイの交流史。その起源もこのチャオプラヤ川上流に交易のため、アユタヤ日本人町が形成されていったことから始まりました。その黎明期から現代に至るまで、600年にわたる日本とタイの関係は、まさにこのチャオプラヤ川に沿って、その歴史を辿ることができるのです。

〈みずかみ・たかひろ〉2014年、国際協力機構(JICA)へ入構。バングラデシュを中心とした南アジアでの開発援助調整や、円借款・海外投融資事業全般の金融リスク管理を担当ののち、2018年よりJICAタイ事務所へ赴任し、広報事業や開発教育支援等を所管。静岡県浜松市出身。1991年生まれ。



## アユタヤ地区での洪水対策

2011年のチャオプラヤ川洪水を受けて、日本はその支流のひとつパサック川で緊急支援を実施。水門2基とポンプ車10台を供与し、水路の護岸工事を行いました。2018年にはこのポンプ車がタムルアン洞窟遭難事故の現場へ急行しました。



水門

無償資金協力(2012年 25.50億円) 協力内容：パサック川(チャオプラヤ川支流)への水門2基&ポンプ車10台の供与ならびに水路の護岸工事  
贈与契約締結：2012年8月 水門完成：2015年8月  
施工：前田建設、日立造船(ポンプ車はクボタ社製)

※JICAとタイ国日本人会共催の「チャオプラヤ流域の橋と治水事業視察」ツアー(8月7日開催)のレポートを来月号に掲載します。

# チャオプラヤ川の橋 Map マップ



## ODA関連の橋梁 (14橋)

※このうちプミポン橋は北橋・南橋の2橋に分かれており、橋梁としては15本が存在する。

## その他の橋梁 (6橋)



## パトムタニ橋

第8次円借款 (1981年 約58億円)  
橋の長さ: 239m  
着工: 1983年2月  
開通: 1984年9月  
施工: 住友建設

## ブラ・ナンクラオ橋

第8次円借款 (1981年 約58億円)  
橋の長さ: 329m  
着工: 1983年2月  
開通: 1985年7月  
施工: 住友建設



## ラマ4世橋 (バックレット橋)

第22次円借款 (1997年 約68億円)  
橋の長さ: 416m 着工: 2003年12月  
開通: 2006年12月  
施工: (第1工区: 橋梁・東西道路約7.7km) 大成建設、Sino-Thai Engineering and Construction Public Co., Ltd. 合併、(第2工区: ラチャブルック道路約6.1km) 三井住友建設

新ブラ・ナンクラオ橋



## ノントブリ1道路橋

第32次円借款 (2010年 約73億円)  
橋の長さ: 460m  
着工: 2012年5月  
開通: 2014年12月  
施工: 三井住友建設、イタリアンタイ共同企業体



## ラマ7世橋

第13次円借款 (1987年 約55億円)  
橋の長さ: 290m  
着工: 1990年1月  
開通: 1992年9月  
施工: 大林組、住友建設、タイ大林合併



## ブラ・ピンクラオ橋

第1次円借款 (1971年 約13億円)  
橋の長さ: 280m  
着工: 1971年8月  
開通: 1973年9月  
施工: 大林組、住友建設



## メモリアル橋

補修: 第7次円借款 (1980年 約42億円)  
補修工事: 1983年11月~1984年12月  
橋の長さ: 234m 着工: 1929年12月  
開通: 1932年4月  
施工: Dorman Long & Co.Ltd、住友建設



## ラマ3世橋

第17次円借款 (1993年 約75億円)  
橋の長さ: 476m  
着工: 1996年8月  
開通: 2000年3月  
施工: ED.Zublin AG、Wayss Freytag、Stecon 合併



## ラマ9世橋

第9次円借款 (1982年 約259億円)  
橋の長さ: 781m  
着工: 1984年10月 開通: 1987年12月  
施工: 日立造船、東急建設、チョーカンチャン、神戸製鋼、日商岩井

カンチャナビセーク橋

## ドムアン空港 ラマ5世橋

第20次円借款 (1995年 約72億円)  
橋の長さ: 320m 着工: 1999年11月 開通: 2002年6月  
施工: 三井住友建設、イタリアンタイ合併  
ナコン・イン道路: ティフノン街道~首都外環状道路区間 (約12km) 着工: 2001年4月 開通: 2004年4月  
施工: 三井住友建設、イタリアンタイ合併

第21次円借款 (1996年 約100億円)  
ラチャブルック道路: ペットカセム道路~ラタナチ18km 着工: 2000年12月 開通: 2004年4月  
チョーカンチャン、タイ大林合併、(南北第2工区) Chai M.C. Construction、Sermuang Construction 合併、(南 Unique Engineering & Construction Public Co., Ltd. 合併



## ブラ・ボックラオ橋

第7次円借款 (1980年 約42億円)  
橋の長さ: 212m 着工: 1981年11月  
開通: 1984年12月 施工: 住友建設

## ブラ・チャオ・タクシン橋

詳細設計: 第2次円借款 (1974年 約3億円)  
建設: 第3次円借款 (1977年 約57億円)  
橋の長さ: 224m 着工: 1979年2月  
開通: 1982年5月 施工: イタリアンタイ、Dragages of Travaux Publics Co., Impresa Generation Di Construction

## クルンテープ橋

建設: 戦後賠償金  
補修: 第17次円借款 (1993年 約75億円)  
橋の長さ: 350m 着工: 1954年8月 開通: 1959年6月  
施工: 富士自動車工業 補修工事: 2000年3月~2002年2月  
補修内容: 全橋塗装、電気開閉システム設置、開閉接続部交換など 施工: ED.Zublin AG、Wayss Freytag、and Stecon 合併

## プミポン橋

第22次円借款 (1997年 約148億円)  
北橋・橋の長さ: 582m  
着工: 2001年10月  
開通: 2006年9月  
南橋・橋の長さ: 702m  
着工: 2001年10月  
施工: 北橋・南橋共に Sino-Thai Engineering

東西高架接続道路  
長さ: 約2,200m  
開通: 2006年9月  
Unique Engineering

王宮  
ワット・アルン(暁の寺)  
アイコンサイアム



写真:水上貴裕

P3



P16



表紙: 王宮

場所: バンコク都ラッタナコーシン島  
王室の重要な祭典などに今も使われているタイで最も権威ある宮殿。粋を凝らした壮麗な建築物が、白壁に囲まれた20万㎡の敷地にエメラルド寺院と隣り合って建てられています。今年5月に行われたラーマ10世の戴冠式も王宮で執り行なわれました。

写真提供/タイ国政府観光局

Copyright of The Tourism Authority of Thailand

9月号 目次

【特集】

03 日本とタイの絆 日本のODAによって建設された橋梁群  
チャオプラヤ川に架かる15の橋

チャオプラヤ川に辿る日本とタイの交流史  
アユタヤ交易の時代から現代のODA支援まで  
国際協力機構(JICA)タイ事務所 水上貴裕

【活動報告】

- 13 ウェルカムパーティー開催【婦人部】
- 14 日泰交歓音楽会開催【文化部】バンコク混声合唱団
- 15 国王陛下の御誕生日を祝し国王讃歌を演奏 於 国立劇場【文化部】バンコク混声合唱団
- 16 第43回日本人会ソフトボール大会開幕【運動部】
- 17 第1回ミノルフレンドシップ大会【運動部】クルンテープ剣友会
- 18 インターナショナルスクール初心者向けセミナー開催【企画推進部】
- 19 「ワットリアップ育英基金」伝達式を行いました【事業部】
- 20 タイ国で健康に年を重ねる 腰の痛みや転倒の予防について【事業部】懇和会
- 21 2019年すくすく会わんぱくミーティング夏祭り【厚生部】すくすく会

【学校だより】

- 29 令和元年度 チェンマイ修学旅行  
バンコク日本人学校 小学部6学年主任 猿田正人

【作品発表】

- 07 メナム句会
- 08 バンコク短歌会
- 26 五行歌の会



P34

【連載】

- 02 Open to the New Shades vol. 9  
バンコク都ラッタナコーシン島  
もう一度行ってみませんか バンコク発祥の地ラッタナコーシン島
- 22 きっかけはタイ タイから繋がるライフストーリー vol. 5 田内河也  
多感な時期にタイで音楽をした。そこから今の僕は始まっている。
- 24 河の都アユタヤ 最終回 レヌカー・M  
マラッカとアユタヤ(3)
- 34 タイのお菓子は二度おいしい ムシカシントーン小河修子  
カノム・ソーンマナット 炒りたてのココナッツがたっぷりの香ばしい焼きメレンゲ

【広報欄】

- 09 理事会議事録(7月度)
- 27 バンコク子ども図書館 9月の新着本紹介
- 27 会報誌クルンテープは2019年10月号より  
季刊誌として新しく変わります。
- 28 ゴルフ部月例会成績
- 28 編集後記
- 33 すくすく会通信Vol.17

# メナム句会 二〇一九年七月句会

七月十三日(土) 十七時〜十九時  
於・日本人会本館会議室

兼題 ▼目高 ▼誘蛾灯 ▼ダリア  
／当季雑詠 (投句 五句)

## ◆今月のエッセイと自選二句(順不同)

『クルンテープ』が季刊になりますが、句会報告を今まで読んで下さり、有難うございました。今後も宜しく願います。俳句の季語を通じて日本文化を再発見できることは、外国人と接する機会が多い私達にとって大変有用で、楽しい経験です。皆様もどうぞ体験にいらして下さい。(幹事)



くるくると目から生るる目高の子 イーブン美奈子  
偽れぬこと誘蛾灯青きこと

助走して踏切・着地・南風 岩田真之介

ダリアダリア恋は炎よ愛は花

目高捕り川の匂ひも手のひらに 浮田 恒夫

ダリア咲き産休明けの娘に笑くば

ダリア一輪母の匂ひの記憶かな 大口 堂遊

目高群れる我が原風景北朝鮮

幼子のダリアと並び背比べ 大口乃り子

せせらぎのメダカの群れの影揺れて

花贈りダリアの花に一期一会 大竹 茜子  
誘蛾灯こっちへおいでと手招くよ

せんべいをパリツとかじり夏の月 嗟峨 春野

アカシヤのゆさゆさ揺れて散りゆきぬ

立葵門の両脇陣取りぬ 堀井 京子

誘蛾灯目の端に入れず大蛾悠々

落ちましたよ少年の声雨季晴れ間 山本 良子

梅雨曇り山積みカバンのエアポート

## 句会仲間、募集中!

初心者も大歓迎です。

- ・ 一回、無料体験ができます。
- ・ 楽しく「タイの季語」も学べます。
- ・ お気軽に幹事までお問合せ下さい。

## ◆句会予定

八月句会 八月十日(土) 十七時〜

▼場所・日本人会本館会議室

▼兼題・ラムヤイ(龍眼)、ボート、風死す

九月句会 九月十四日(土)、本館会議室

## ◆連絡先

幹事 イーブン美奈子 〇九〇一九七〇一一二五六

minakobar@gmail.com

# バンコク短歌会 二〇一九年七月例会

七月二十八日(日) 十七時十五分〜十九時十五分 パーソナルコンサルタント社  
〈「紙」または自由題〉

領事館の木末こぬれの風の手触りの投票用紙ずきんと白く

イーブン美奈子

初めて訪れた広島ひろしまの原爆の子の像を前にして  
色紙に折り込む祈り時を超え言葉を超えて届くヒロシマ

北館尚子

借りたお金懐紙かふしに包み返す友男勝りと人は言うけど

斎藤由利子

古書を開きナイルの源流逍遙す本の虫なり吾は紙魚しこなり

申人

十五年ぶりのバッグを取り出せば折り紙の裏に「ママのかお」あり

那須世子

紙風船ふくらませたよなほっぺして上目使いも駆使する二歳児

森上美恵子

## 会員募集

五感(視る、聴く、触れる、味

わう、嗅ぐ)を思いっきり活躍さ

せて一度きりの人生を今日から楽し

み直してみませんか。ぼんやり眺め

ていた風景の鮮やかさに心が浮き立っ

ています。鳥のさえずりの音階に涙ぐむかもしれま

せん。パートナーや友だちとの触れ合いにとときめ

くかも知れません。フレッシュな野菜のおいし

さに元気がでます。プルメリアの花の香りに桃源郷

が見えてきます。生きるってこんなに素晴らしい

ものだったのかと全身で喜びが感じられます。そ

れらを五七七七七のみそひと文字に書き留めてみ

ませんか。月一回二首を幹事までお送りくださ

い。和気あいあいの合評会も、オフ会(呑み会)

も参加しないと人生の楽しみが半減しますよ。

是非短歌を始めてみませんか。ご連絡をお待ち

しています。

◆幹事 森上美恵子

◆電話 〇八九・八九一・一六八三

◆メール [miekobkk@gmail.com](mailto:miekobkk@gmail.com)

スマホ時代

になり、筆

記用具を持

ち歩かなく

なりました。

折々のご機

嫌伺いの便

箋も買わな

くなりまし

た。新聞の定期購読も解約し

ました。最近の子供達は夕オ

ルをキュッと絞れないとか

……そのうち、本の頁捲れな

い子も出て来るかも。

転勤した知人によると、中

国の深圳しんせんでは市場でさえ端末

にスマホ当てるお買い物する

んだとか。電子マネーが当た

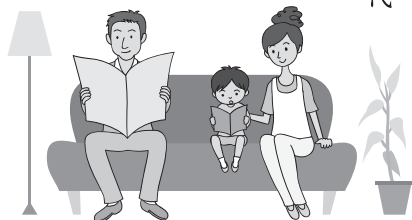
り前になってそのうち紙幣も

無くなるかも。そういえば我

が家、最近お札見てないなあ

……あつこれは別問題か。

(由利子)





理事会議事録（二〇一九年七月九日）（火）開催

一、会長報告（会長出席案件）

六月十一日（火）タイ王国元日本留学生協会新理事と日本公理理事との懇親会

於：てっぺんサートン店

六月十八日（火）泰日協会Board Meeting & Annual General Meeting

於：Renaissance Bangkok Ratchaprasong Hotel

六月二十五日（火）在京タイ王国大使館 プンナーク大使表敬訪問

七月六日（土）泰日協会七夕祭り開会式 於：アユタヤ日本人村

七月七日（日）第四十三回ソフトボール大会開会式 於：Rawurrit Bangkako School

（会長代理出席案件）

六月二十二日（金）高野山真言宗から納骨堂カンチャナプuri基金への寄付贈呈式

於：花屋（神原事業部長）

六月二十二日（土）ワットリアップ育英基金伝達式

於：ワットリアップ（神原事業部長・石井理事）

六月二十四日（月）王立バンコク交響楽団狂行会 於：大使公邸（伊藤副会長）

二、一般報告

（一）六月度個人会員動向

入会者 一〇七名

退会者 一八七名

現会員数 六、五八六名（内 準会員二七七名）

（二）六月度賛助会員動向

（入会 一社）

・Shinki International Co., Ltd.（ドライバー派遣サービス、不動産投資、旅行事業）

・Sakurajiji Rojana Medical Co., Ltd.（病院・クリニック）

（退会 一社）

・Suburwit Property Management Co., Ltd.（不動産業、運営及び管理、リノベーション業務）

現会員数 五六九社

（三）六月度会館来訪者数

本館：一七七名（実数 二二七名）

別館：二、一一七名（実数 七二六名）

合計：二、三九四名（実数 八五三名）

（四）六月度会計報告

・六月度収入は、一三〇万バーツ（前年同月 一四〇万バーツ 前年同月比九五・七％）

・六月度支出は、一四七万バーツ（前年同月 一三九万バーツ 前年同月比一〇三・五％）

・単月収支 マイナス一七万バーツ（前年同月 二万バーツ 差額 一八万バーツ）

・累計収支 八二万バーツ（前年同月 一九万バーツ 差額 マイナス二〇万バーツ）

（五）法人会館利用

・一般法人向の会館利用実績の紹介。十一月末までに五件の予約を受けている（十月 一ヶ月と入学試験の利用が三件）

（六）会員優待店

【新規加盟】

・桜十字クリニック エンポリウム院

・こどもクリエ塾 バンコク校

・三本珈琲店

・UCC上高珈琲

・NWA ONLINE（オンライン英会話）

五社（入会頂き一〇四店舗となった。）

（七）寄贈報告

・現金の寄付

納骨堂カンチャナプuri基金に、高野山真言宗国際局より十万円、長原敬峰師より五万円、永崎亮寛師より三万円、加門知龍師より一万円を、寄付頂いた。

・本の寄贈

福音館書店・高野山真言宗タイ国開教留学僧の会・三村洋三様・上野義弘様・権盛肇様・森脇睦郎様・岩崎悦子様・熊本奈々子様 その他三名より、二七六冊の寄贈

（八）その他報告（事務局）

・七月の主な会議と、各部の主なイベントを紹介した。

### 三、タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

（一）対象事業名：第三回 C E R E Z O C U P

・開催日：二〇一九年七月二十八日（日）

・主催：セレッソ大阪サッカースクール・バンコク校

・要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用

↓ 異議なく、承認された。

（二）対象事業名：日本郷土芸能交流協賛第七回海外公演 日本伝統文化公演 in タイランド

・開催日：二〇一九年八月十八日（日）

・主催：株式会社 たびりずむ

・要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用・会員向け告知集客

↓ 異議なく、承認された。

（三）対象事業名：バンコク日本博 〇一九

・開催日：二〇一九年八月三〇日（金）〜九月一日（日）

・主催：株式会社 ジェイエデュケーション・Lighthouse Info Service Co., Ltd.

・要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用

↓ 異議なく、承認された。

（四）対象事業名：ロボット教室体験会

・開催日：二〇一九年八月二十二日（金）・九月十四日（土）

・主催：Human DigiCraft Manpower (Thailand) Co., Ltd

・要請事項：日本人会共催・ロゴ使用・会員向け告知・会館の無料使用

↓ 異議なく、承認された。

（五）対象事業名：森山良子 フレンドシップコンサート イン バンコク

・開催日：二〇一九年十一月十日（水）

・主催：Daisho Thailand Co., Ltd

・要請事項：日本人会後援名義

↓ 異議なく、承認された。

### 四、二〇一九チャリティーバザー概要説明（谷チャリティーバザー実行委員長）

・九月二十八日（土）開催のチャリティーバザーについて、企画推進部でも議論を重ね新しい仕組みで開催することになったので、情報共有をしたい。

・一九七二年から始まったチャリティーバザーは、ご婦人方が中心に、日貨排斥運動の中、反日感情が強くなつていくタイの社会に何とか貢献したいという思いからスタートした。当初は、ご婦人方が作った手作り品を売って収益金をタイの社会に寄付として還元していた。チャリティーの原資となるバザーの収益金は、近年、現金寄付・商品寄付・委託店・手作り品寄付とも減少傾向にあることや、会場費などの費用の増加のため減少傾向にある。このまま日本人会のチャリティー事業が収束していつしまう可能性があり、対策の必要性がでてきている。

・本年度は、従来の商品・現金・手作り品・委託店寄付に加え、会場費寄付を新しい仕組みとして導入し、情報誌 W i s e に協力頂けることとなった。従来からある委託店については、日本人会側では賛助会員企業を対象に特別料金を設定し、その他の企業は、W i s e の枠での出店とし、より大規模で魅力あるバザーとしていく予定である。日本人会としては、W i s e に協力頂く形になる。

・日本人会では企業からの現金・商品寄付、賛助会員出展、手作り品、NGO出展の取りまとめを行い、情報誌では一般企業の出展の募集や告知をして頂く。情報誌としての告知力で、二千人以上の集客を目指し、チャリティーバザーの純益金百万バツを目指し、タイ社会への貢献を加速していきたい。会場寄付という取り組みは、来年度以降も持続可能な形に進化させていくつもりである。

・従来のチケット制を廃止し、会員には優先入場という仕組みを提供する予定である。また、来場者の滞留時間を長くするような取り組みも検討している。

・七月中旬より会員向け告知、出展企業の募集を開始していく。

### 五、八月からの休日のバンコク日本人学校施設利用変更について（事務局）

・これまで、バンコク日本人学校は、学校休日の運動場や体育館について、日本人会傘下の同好会やソフトボール大会出場チーム、その他日本人会会員以外の団体へ貸し出しを行っていたが、昨今、学校の安全管理上の問題や、利用者の不適切な利用状況が問題になってきている。バンコク日本人学校側と日本人会事務局が話し合いを重ねた結果、バンコク日本人学校より、八月から施設利用については、日本人会の運動部に所属する同好会とソフトボール大会に参加するチームに限る旨の通達が行われた。それに伴い学校の施設利用については、日本人会が取りまとめたうえ、施設利用許可を学校に提出、入校については会員証の提示でセキュリティを高めることとした。日本人会事務局では、学校施設利用許可申請の方法が変更となる旨、学校利用団体向けに日本人学校からの通達とともに、日本人会からの通達を六月末に発信した。

・各利用団体からは、様々な要望、意見を頂いたが、特に、クルンテープ剣友会からのタイ人剣士入館規制（タイランド剣道クラブに所属）に関して「日本人学校の施設利用について、日本人会の会員のみに限られることについて、クルンテープ剣友会よりタイ人剣士への特別入校許可をお願いしたい。」との意見があった。

・日本人学校としては、通常は土日も施設利用については教育目的以外の利用は使えないところ、日本人会については教育に準ずる団体として、文部科学省に説明し今後も使用許可をしていきたいと配慮頂いている。

・以上の日本学校からの「配慮」や会員からの意見も踏まえ、二役会でも検討した結果、学校施設利用について、学校側と次のよう立場で協議を進めたいと考えている。

一）日本人会の同好会活動における休日の学校施設の特別利用に関しての「協力に感謝する。  
二）日本人会の活動での休日の春日協立学校の活用につき、日本人会が窓口となり取り纏めを行うこととする。

三）日本人会事務局の立場は、あくまで傘下会員団体の申請窓口・調整する役割であり、傘下同好会の施設利用に関して注意喚起を行うものである。

四）第三者機関からの施設利用の問い合わせ、受入可否の判断、施設管理責任者は、従来通り春日協立学校にお願いしたい。

五）日本人会は会員互助組織であり、ソフトボール大会、同好会活動に参加したい会員は日本人・タイ人に関わらず、会員・準会員に登録していただくのが基本とする。但し、タイランド剣道クラブ（タイ人剣士）に関しては、これまでの設立経緯、春日親善という観点から特別措置として、従来通り、対応で春日協立学校に入校をお願いしたい。  
・日本人会としては、本案にて学校と話し合いを進めることとする。

#### 六、各部・各委員会報告及び提案等（報告順）

(一) ラムウォン盆踊り実行委員会（日時本理事）

・当初二〇一九年十二月十四日（土）開催で検討していたラムウォン盆踊り大会については会場のテハサディンスタジアムが十月にスポーツ省からチュラロンコン大学に移管されることになり、二〇二〇年半ばまで改修工事に入るため、二〇二〇年以降開催に延期とした。

(二) 教育部（田中（郵船）理事）

・六月二〇日（日）二〇一九年度第一回英語検定二次試験をバンコク日本人学校にて開催した。  
二級四十三名、準二級五十七名、三級七十五名、合計で二七五名。ボランティア十一名、日本人学校教頭先生二名にお手伝い頂いた。

(三) 文化部（田中（郵船）理事）

・七月二十日（土）文化部同好会タイを知る会主催、佐渡島大使講演会「佐渡島大使とタイの繋がり―絵画を通じて感じたタイ社会―」を開催予定。

(四) 青少年部（酒井理事）

・六月、七月の対外活動を紹介した。

十四 広報部（事務局代理）

・六月のホームページアクセス状況は、訪問数九、四七七、閲覧数四、四一九。前年同月比訪問数二三・六％、閲覧数二〇・八％。前月比は、訪問数二〇・八％、閲覧数二一・七・八％。タイからの訪問数は六九・〇％、日本からは三二・八％。

・二〇一七年一月より、月曜日と木曜日にLINE配信をしている。LINE登録者数は、先月より六六名増加し、二、六三九名（有効数一、九五五名）となっている。

・四月二十二日（月）からFacebookにて、イベントに関する投稿を開始した。六月中に二十四回配信、フォローワー数は前月より十三名増えて六八七名。

(五) 企画推進部（伊藤理事）

・七月号の情報誌用の広告を紹介。

・八月二日（金）おりも政夫氏のミニコンサートを本館にて開催予定。

・八月七日（水）JICAとの共催イベント「夏休み企画 親子で参加！チャオプラヤ川流域の橋と治水事業視察」を開催予定。十二組三十名の応募を頂いた。

・企業からの依頼があり、本館ロビースペースでの物販を検討し実施することとした。条件は賛助会員に入会して頂くこと。また、日本人会会員向けの優待を出して頂ければ無料で告知をすることとした。試験的な運用とし、問題があれば改善していきたい。

(六) 運動部（中村理事）

・七月七日（日）第四十三回ソフトボール大会開会式をRatwinit Bangkako School にご開催九月十五日（日）まで予選トーナメント。

・六月二十日（日）開会式に先立ちゼロファイターズ、ソムナムズから十九名にお手伝い頂き、備品搬入、杭打ちを行った。タイ大林様に杭の制作、得点ボードの修理を引き受けて頂いた。  
・ソフトボール大会に利用しているサッカーグラウンドの芝が剥けてしまっていることについては、学校に迷惑をかけないよう対策をすることとしている。

(六) 在タイ日本国大使館(野中領事部長)

・在タイ日本国大使館における在外公館投票を七月五日(金)から十五日(月)まで実施。土日も投票できるので在外選挙認証をお持ちの方は是非投票して頂きたい。

(七) 会報部(富永理事)

- ・七月号の表紙は、チャンタプリー県
- ・特集は、学校日より「チャナム臨海学校」
- ・「きつかけはタイ」連載四回目は、新田咲子氏

(八) 事業部(神原理事)

- ・六月二十一日(金) 高野山教字部・橋本真人師・タイ国開教留字僧の会、長原会長・永崎事務局長・加門師・馬場師を囲んでの夕食会を開催した。懇和会宛てに長原師より五万円、永崎師より二万円、加門師より二万円、寄付頂いた。さらに長原師から卒寿のお祝い返しとして十万円、寄付頂いた。
- ・六月二十一日(土) ワットリアップ育英資金伝達式に参列し、チャリティー基金からの五万バーツを贈呈した。尚、賛助会員企業の HIGRO-MASTER (THAILAND) CO., LTD. から同基金に寄付の協力があった。
- ・七月四日(木) 懇和会講演会「タイ国で健康に年を重ねるコツ」膝の痛みや転倒防止を中心に開催した。講師は神奈川県立保健福祉大学教授 田中繁治氏・倉敷平成病院理学療法士主任博士 井上優氏。三十二名の参加があり、大変好評であった。

(九) 運動部・ゴルフ部(神原理事)

- ・六月十六日(日) ゴルフ部第七一〇回月例会をラムルッカC.C.にて開催。Aクラス優勝渡辺信二天橋智樹氏、Bクラス優勝細谷知行氏。六月末現在部員数一一〇名
- ・七月七日(日) チュラロンコンOB対抗ゴルフにゴルフ部員四十名にて参加。日本人会が勝利

(十) 食堂運営委員会(石井理事)

- ・六月の売上は昨年同月比八八、七%の一、五五四、六六〇バーツ。タイ人顧客数三、九七九名、邦人顧客数一、二八四名、顧客総数五、二六三名となっている。邦人顧客会員利用者延べ人数は二九五名、実数一五四名。

(十一) IETRO(日本貿易振興機構)(小篠代表)

- 七月九日(火) 竹谷厚新所長が着任した。

(十二) 婦人部(事務局代理)

- ・六月二十五日(火) ウェルカムパーティーを別館にて開催。四十名の参加があった。多くの協賛品の提供を頂き感謝申し上げます。

(十三) 事務局報告(熊本事務局)

- ・六月の会議スケジュールを確認。

八、六月度理事会 議事録承認

―― 異議なく承認された。

十、理事会出席者(敬称略、順不同)

- 島田会長、田中(伊藤忠)、伊藤、酒井、萩原、中村各副会長、中田、渡辺、猪股、桐生、仲野、富永、田中(郵船)、日時本、土田、西村、谷、神原、石井各理事、朽木監事、野中大使館代表、宮崎JICA(国際協力機構)所長、小篠JETRO(日本貿易振興機構)代表、小田原バンコクスリウオンロータリークラブ代表、西岡タイ情報誌制作会社代表、事務局(熊本・村上・佐藤)

【婦人部】

室賀さゆり

## ウェルカムパーティー開催

6月25日(火)、54名の方々が出席して毎年恒例のウェルカムパーティーが開かれました。



企業各社からご提供いただいたたくさんのお土産  
前列右からバムルンロード病院の伊藤様、藤田婦人部長、安全情報についてお話しいただいた内田様

はじめに藤田婦人部長のご挨拶。タイでの生活の不安を取り除くためにも日本人会のようなコミュニティがあるということとは大切なことなのでこの機会をしっかりと役立てて生活に生かして欲しいというお話をいただきました。

続いて、安全情報として、注意すべきトラブルやその対処法についてAMJ法律事務所代表・タイ国家首都警察ボランティア警察員内田様から、数多くの体験談を交え具体的なお話をさせていただきました。

引き続き、BLEZ ASTIAの中島様からは、生活情報として、病院と薬局、クリニックの使い分け、日本とタイの薬の違いについてわかりやすく説明をしていただき、参加者向けにタイのお薬の資料を提供していただきました。

お話の後は、サステイナの彩り豊かなランチボックスとお茶で懇親会。しばらくグループで歓談してお食事をいただきながら、タイ生活の経験豊富な婦人部のメンバーが、参加者の事前質問にそれぞれ答えていきます。

あっという間に、パーティー

の終わりの時間が近づき、締めくくりに日本人会熊本事務局長より、タイ国における日本人の動向、日本人会の紹介、イベントやサークル等を含めた会としての活動の様子をお話ししていただきました。

タイでの生活に役立つ情報満載の会の終わりに、二つの袋にいっぱいのお土産を手にして、参加者からは嬉しい驚きの声があがりました。

今回は、例年にも増して多くの企業の方々にご協力をいただきました。味の素、ブレズ薬局、バムルンロード病院、フェイシヤルエステ山野、和食レストラン濱岡、ハーモニーライフ、106ヘアースタジオ、森のたま(伊勢 Corporation)、美人トット(Japan Agriculture Co.)、JAL、ジムトンプソン、JTBL、kana Shimada Total beauty&Co、二本トニー、マジックカフェ、LEGEND CASTLE(Nippon Restaurant Management)、TOYOTA、ヤクルト、YIMS Style各社(順不同)の皆様  
に感謝申し上げます。

【文化部】 バンコク混声合唱団

井口智香子

## 日泰交歓音楽会開催

クロントイスラムで音楽を学ぶイマヌエルオーケストラと  
合同演奏会をバンコク芸術文化センターで開催しました。



終演直後の高揚感あふれる舞台

去る6月23日(日)、バンコク混声合唱団とクロントイスラムで音楽を学ぶイマヌエルオーケストラとの合同演奏会「日泰交歓音楽会」をバンコク芸術文化センター(BACC)で開催しました。

オーケストラの伴奏による「君が代」で幕を開け、第1ステージは日本の郷土歌四選「朧月夜」「通りゃんせ」「ずいずいづつこぼし」「七夕さま」を無伴奏合唱で、第2ステージはイマヌエルオーケストラによる弦楽合奏、第3ステージはヘンデルの大作「Dixit Dominus」を合同演奏、そして国王賛歌で締めくくるという2時間弱のステージでした。

定期演奏会の位置づけとして16度目となる今回のコンサートは、団員の「Dixit Dominus」を歌いたいという一言から始まり、それならばオーケストラの演奏で、6月ならイマヌエルとの共演が可能と話が進み、前回の定期演奏会からわずか4カ月での開催に至りました。  
練習期間が短く、仕上がるか不安という声も上がりましたが、賛助を含むメンバーによる自主練習などの努力、またイマヌエルオーケストラの純粋な子どもたちの熱意にも後押しされ、本

番は予想以上の力が出せたようです。170名を超える多くの方にお越しいただきました。

終演後には来場者から華僑系コミュニティ主催の合唱祭に招聘され8月にイマヌエルオーケストラと共に抜粋での再演が決定しました。この日泰交歓音楽会がきっかけで音楽による国際文化交流の場がまたひとつ増えることとなります。

「君が代」と国王賛歌をオーケストラ版に編曲し、本番までご指導くださった音楽監督の岩淵大輔先生、イマヌエルオーケストラの若い弦楽奏者たち、少ない団員出演者の大きな支えとなった賛助各位、そして運営をお手伝いくださった皆様に心より感謝申し上げます。

バンコク混声合唱団では常時メンバーを募集しています。一人ひとりが練習を重ねることに、声心が一つになってハイモニーを作り上げる。その楽しさを一緒に味わいませんか。ぜひ見学にお越しください。合唱未経験者も歓迎します。ご連絡をお待ちしております。

### 【活動日時・場所】

毎週土日 14:30 ~ 17:00

### 【連絡先】

bangkokconsej2018@gmail.com



【文化部】バンコク混声合唱団

森はつみ

## 国王陛下の御誕生日を祝し 国王讃歌を演奏 於 国立劇場

ワチラロンコン国王陛下御誕生日記念公演「ストーン物語」で、開演に先立ち、国王讃歌を演奏しました。

7月21日(日)、王宮広場至近のタイ国立劇場にてワチラロンコン国王陛下御誕生日記念公演、タイ古典舞踊劇「ストーン物語」が上演され、わがバンコク混声合唱団は開演に先立ち、国王讃歌を演奏致しました。

今回は、編曲を手掛けられた当団音楽監督の岩淵大輔先生と団員11名によるアカペラでオープニングを飾ることとなりました。

ストーン物語は古くからタイ国民に親しまれているタイ古典舞踊マノーラの続編として1989年に初演されたものだそうです。この日は人間国宝(National Artist)の称号を持つタイ国トップクラスの舞踊家と日本のタイ舞踊家が出演し、指先からつま先までの繊細な動き、豪華絢爛な衣装、独特な音色と旋律が素晴らしい音楽にも魅了されました。

日頃は主に伝統的なタイ舞踊の上演に用いられている国立劇場は木の温もりが感じられる空

間で、高い天井やステージ脇には装飾が施され、格式高い雰囲気醸し出しています。

タイの方々を迎えての国王讃歌であったため、外国人である私たちによるタイ語の発音やイントネーションに違和感をお持ちになるのではないかと不安もありましたが、無事に歌い終え、大きな拍手を頂戴することができました。また、さすが国立劇場、とても心地よい音響の中で歌えましたことは言うまでもありません。出演後は客席にて「ストーン物語」はじめ各演目をたっぷり堪能致しました。

国王陛下の御即位初年の誕生日を祝う特別な公演で出演者の一端に加えていただき、心より感謝しております。

バンコク混声合唱団では、定期演奏会の他、様々な団体と共演する機会もあります。歌うことが好きな方、私たちと一緒にステージで楽しい時間を共有しませんか？

# 第43回日本人会ソフトボール大会開幕

恒例のソフトボール大会が開幕！ 今年も22チーム約500名が参加し、熱い戦いが繰り広げられます。乞うご期待！



①



③

②



④

①②開幕日の第1試合は選抜リーグのボンバーズvs丸紅。14：3でボンバーズが勝利 ③昨年選抜リーグ優勝のボンバーズ森本選手の選手宣誓 ④開会式。左から、タイ王国元日本留学生協会のスパチャイ氏、大会会場であるRatwinit Bangkaeo SchoolのOB会会長のサクシン氏、日本人会島田会長、中村運動部長



7月7日(日)、毎年恒例の日本人会ソフトボール大会が開幕しました。今年度もRatwinit Bangkaeo Schoolにて場所を変え開催します。開会式には日本人会から島田会長、中村運動部長、また、学校をご紹介いただいたOJSAT(タイ王国元日本留学生協会)のスパチャイ氏、同校OB会会長のサクシン氏にもご出席いただきました。

昨年選抜リーグ優勝のボンバーズ森本選手の選手宣誓、中村運動部長による始球式で幕を開け、皆さんの熱気で、雨が降ることもなく無事初日の5試合を終えました。

今年も全22チーム(選抜12チーム、一般10チーム)が参加し、熱い戦いが繰り広げられます。今大会も約500名の日本人会会員とそのお子様に参加予定です。皆様の応援をよろしくお願いたします！





バンコク日本人学校の小中学生も大活躍。  
ジュニアの部で優勝した本惟平君（左）



【運動部】クルンテープ剣友会

日高幸子

# 第1回ミノルフレンドシップ大会

剣道の普及に生涯を捧げた志井稔先生を偲んで、6月13日(日)、ミノルフレンドシップ大会が開催されました。

タイで剣道の普及と日タイ交流に人生を捧げてこられた志井稔先生が、去る1月5日に永眠されました。先生を偲んで、ミノルフレンドシップ大会が開催されました。

バンコク日本人学校の小中学生も大活躍し、ジュニアの部では本惟平君が優勝、日頃の熱心な取り組みが結果に繋がりました。

また、志井稔先生の長男である正行さんは、このお父さんの名を冠した記念すべき第1回大会男子段の部において、見事に個人優勝を果たしました。

クルンテープ剣友会は、今後も剣道を通じた日本文化の伝承と日タイ交流に貢献していきたいと思えます。

.....  
ミノルフレンドシップ大会を終えて 小学部5年 本 惟平

「勝負あり。」  
審判の旗が上がリ、優勝が決

まった時の気持ちを、僕はずっと忘れません。

試合が始まる前は、口から心臓が飛び出しそうなくらい緊張していました。しかし、今までのお稽古を思い出しながら素振りをし、心を落ち着かせました。

試合では、今まで教えていただいた事を存分に発揮しようと心に決め、攻める気持ちを持って臨みました。また、先生方や、サークルのみんな、周りの方の応援がとても力になりました。

この大会を通して、勝つことのうれしさだけではなく、お稽古は裏切らないという事、感謝の心を改めて学びました。この経験をこれからのお稽古や試合に活かしていきます。

【活動日時・場所】

毎週日曜 バンコク日本人学校  
14:30 ~ 15:30 青少年部  
15:30 ~ 17:30 一般の部



**【企画推進部】**

# インターナショナルスクール 初心者向けセミナー開催

インター校を選ぶ際のポイントや必要な英語力、帰国した際のメリット・デメリット、帰国子女入試などについて説明していただきました。



講師の方々から具体的なお話をうかがいました

7月18日(木)、日本人会別館にて語学学校ジオスタイランドのご協力をいただき「インターナショナルスクール初心者向けセミナー」を開催しました。

当日は小さなお子様連れや小学生のお子様を持つ保護者の方を中心に21名の方が参加しました。

第1部ではインター校に勤めていた経験のある講師の先生より、インター校を選ぶ際のポイントや、必要な英語力、インター校と日本の学校の教育内容の違いなどの説明がありました。

第2部ではさらに日本に帰国した際のインター校のメリット・デメリット、帰国子女入試についての紹介などがあり、充実した内容のセミナーとなりました。